

「5つの気（元気・本気・根気・やる気・和気）があふれる学校」を目指して

下関市立東部中学校

学校運営協議会について

新型コロナウイルス感染症拡大のため、今年度は開催が危ぶまれたが、ソーシャルディスタンスをとって、換気や手指消毒などできる限りの感染対策を行って、短時間での開催となりました。

第1回は、学校長よりパワーポイントを使って本校の紹介を行いました。本校の現状の説明のあと、委員より課題やそれに関する質問が多数出され、今年度の方針を協議しました。第2回は、学校評価の中間報告をもとに、学校運営に関する改善点について協議を行いました。また、これまで夜間に学校運営協議会を開催していたが、昼間に開催し、校内や授業の様子を実際に参観していただきました。校内環境の現状や実際の生徒の様子を見ていただいた後の協議となり、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施したグループワークの工夫や「主体的・対話的で深い学び」について、取組の現状を知っていただいた上での課題協議となり、充実した会議となりました。

特色ある活動

例年は、3地区の夏祭りへの参加を通して、地域の元気を担い、本気で地域と関わりをもつところであるが、今年度は全ての地域行事が中止となり、例年の活動はできませんでした。

9月に行われた学校行事において、保護者の車の誘導と、新型コロナウイルス感染症対策のための検温確認や体調の確認のための受付を、CSや「東部子どもネットワーク」、「おやじの会」の方々にご協力いただきました。100台近い自家用車の誘導や150人近い保護者の体調確認を行いました。

本校では、東部中学校区で様々な活動を行う「東部子どもネットワーク」があり、地域での生徒の活動の支援や、学習面での支援活動を行っています。

来年度に向けて

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの行事が中止となりましたが、来年度は、予防対策の充実を図り、校内で地域の方と花壇作りや、豊かな自然を利用した生徒との協働整備作業を行うことで、地域貢献だけでなく、学校支援を通じた地域との交流を深めていきたいと思っております。

「地域とともにある学校づくり」をめざして

下関市立小月小学校

学校運営協議会について

- ①実施回数・・・学期に1回開催（第1回は書面）
- ②主な協議内容
 - ・本年度の学校運営方針、活動（5月 書面）
 - ・学校運営の状況、150周年記念事業（11月）
 - ・学校評価結果（11月、2月）
 - ・来年度に向けて（2月）
- ③コーディネーターの活動
 - ・学校支援活動の連絡・調整、準備・支援

特色ある活動

- 撫子の花の苗植え替え活動
 - ・ 2年生と小月本町通り協議会、小月ふるさと町づくり協議会、東部5地区まちづくり協議会の方々と撫子の花の苗植え替え作業をしました。本町通りの両側の歩道にプランターを置きました。

- 150周年記念マスコットキャラクター総選挙
 - ・ 1校時は、選挙の事前授業を各クラスで行い、選挙の仕組みや投票のやり方を学習しました。2校時から、体育館で順番に投票しました。市の選挙管理委員会の協力で実際の記載台や投票箱を使いました。企画、準備等は小月小学校創立150周年記念実行委員会の方が中心となって進めました。

- 習字教室
 - ・ 地域コーディネーターの石田数幸さんを講師に迎え、6年生の特別授業をしました。習字の筆がおもしろい形を作りだし、子供たちは思い思いの感謝の言葉を色紙に表していました。



来年度に向けて

本校は、来年度、創立150周年の記念の年にあたります。小月小学校創立150周年記念実行委員会を中心として、学校・家庭・地域の方と一緒に記念事業を進めていきます。記念事業を活動の中心として、コミュニティ・スクールへの参画意識をさらに高めていきたいと考えています。

「地域に開かれた信頼される学校」をめざして

下関市立清末小学校

学校運営協議会について

主な協議内容（各学期1回実施）

- ・学校経営方針の周知と承認
- ・本年度の学校教育活動および組織について
- ・学校評価や授業参観をもとにした本校課題の検証
- ・学校応援団との連携・協力

11月4日には「熟議－育てたい子供像」をテーマにワークショップ型協議を行いました。

清末地域として、どのような子供を育てていけばいいのか・育てなければならないのかを、地域で活動されているそれぞれの立場から、意見を出していただきました。次に、出た意見をグルーピングしながら、必要と考える取組を発表し合いました。



特色ある活動

【イチゴの苗植え】

清末地域はイチゴの生産で有名です。清末小学校のキャラクターにもイチゴがあしらわれ、4月に行われる維新・海峡ウォークでは、清末でイチゴを食べることを楽しみに参加される方も多くいます。

3年生の総合的な学習の時間には、イチゴ農家の方に来ていただいています。イチゴを育てるときの苦労や収穫の喜び等を聞き、3年生も苗を植え育てる活動をしています。



【エプロンの点検・修繕】

今年度は感染拡大防止という観点から、子供たちにも衛生面で気を付けるように指導してきました。

夏休みには、エプロンの点検・修繕を学校応援団のみなさんに手伝っていただきました。汚れを細かく点検していただき、傷んだ箇所については修繕もしていただきました。感染が拡大しやすいといわれる「食べる」ことに対して、とてもありがたい支援でした。



来年度にむけて

地域連携カリキュラムを教職員や学校運営協議会委員で見直し、子供たちのためになる、よりよい学校支援や地域貢献を模索していきたいと思えます。また、来年度も引き続き学校便り等を利用してコミュニティ・スクールのよさをより広く情報発信し、学校・家庭・地域の連携を更に強固なものにしていきたいと考えています。

「ふるさと王司」の教育力を生かし、地域とともにある学校をめざして

下関市立王司小学校

学校運営協議会について

1 委員の構成

学校運営協議会（全15名）が学校組織「おうじ三部会」と連動し、コミュニティ・スクールとしての活動を推進しています。コーディネーターは、「王司地区ふるさと協育ネット『ようきたね〜』」の会長で、「王司まちづくりの会」と連携しながら豊かな心を育む教育活動の充実を図っています。

2 実施回数

通常協議会 年4回（今年度の熟議は中止）

3 主な協議内容

- ・学校運営説明および承認
- ・重点取組事項、教育活動の成果と課題の共有
- ・学校評価の考察（活動内容と児童の実態）
- ・各団体の活動内容及び活動報告



第1回学校運営協議会（外国語教室にて）

特色ある活動

◆地域の人材を生かした教育活動の充実

「たんぼぼのはら・お話の会（ボランティア）」のみなさんによる読み聞かせの活動が行われています。

金曜日の8:15～8:30の約15分間を「たんぼぼたいむ」として、1～3年生は週1回程度、4～6年生は月1回程度を目安に、各教室で実施されています。

20年以上続く活動で、子供達にとっては、本に親しむ大変貴重な時間となっています。



7月3日（金）ようやく活動開始

◆今年度初の取組

「王司老人クラブ」と「ふるさと協育ネット」のみなさんによる門松づくりが行われ、学校玄関に大きな門松が飾られました。

朝から多くのお年寄りの方による手際よい作業が進み、たいへん立派な門松が完成しました。

制作過程を見学した子供たちは、初めて見る門松づくりの様子に感心するとともに、その大きさに驚いていました。



12月21日（月）
学校玄関に設置

来年度に向けて

- ・地域人材や地域素材を生かし、「小・中学校地域連携カリキュラム」の充実を図る。
- ・保護者の参画意識の向上（「ふるさと協育ネット」「親児の会」の活動の充実）を図る。
- ・学校支援及び地域貢献の様子を情報発信し、地域と連携・協働することのよさを広く周知するように努める。